

1.3. 市受託事業

(1) 気仙沼西地区高齢者相談室運営事業

【概要】気仙沼西地区の災害公営住宅や防災集団移転団地の整備に対応し、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため巡回訪問し、安否確認や見守り、声掛け総合相談等を実施しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	備 考
災害公営住宅 巡回訪問	住宅数(延べ)	4 カ所	訪問した災害公営住宅団地数
	戸数(延べ)	984 件	訪問した戸数
	(内不在、延べ)	307 件	訪問したが不在(状況確認)
防災集団移転先 巡回訪問	住宅団地数(延べ)	2 カ所	訪問した防災集団移転先数
	戸数(延べ)	2 件	訪問した戸数
	(内不在、延べ)	0 件	訪問したが不在(状況確認)
応急仮設住宅 巡回訪問	住宅団地数(延べ)	0 カ所	訪問した応急仮設住宅団地数
	戸数(延べ)	0 件	訪問した戸数
	(内不在、延べ)	0 件	訪問したが不在(状況確認)
相談件数	住宅関係	0 件	住宅等の問題
	健康相談	2 件	身体的健康の問題
	精神的問題	0 件	PTSDなど精神的問題
	介護関係	0 件	介護保険等相談
	家族関係	0 件	DVなど問題
	交通等	0 件	通院や買い物等の問題
	経済関係	0 件	経済的な問題
	交流	0 件	孤立や交流等の問題
	傾聴	5 件	
	その他	3 件	上記以外の問題など
合計	10 件		
お茶会等イベン ト活動	交流イベント(他団体共催含む)	96 2カ所	交流会等への援助活動
	参加者数(延べ)	986 人	
地域支援活動	自治会等	0 回/1カ所	地域行事への参加協力
	参加者数(延べ)	0 人	
広報公聴活動		381 部	高齢者相談室の活動、イベント等の周知
各種連絡調整会議	行政・サポセン・ボラセン・NPO/NGO等	31 回	行政・サポセン・ボラセン・NPO/NGO等との情報共有
職員研修状況	内部研修	0 回	社協内部研修会実施
	外部研修	0 回	外部研修会への参加

【成果】コロナ感染拡大防止を基本に、市高齢介護課との連携の下、要支援世帯を中心に見守り・声掛けを行い、訪問活動を計画的に取り組むことができました。市内での感染拡大により訪問を一時中止とし、電話による対応をした月もありました。訪問時にはマスク着用、アルコール持参のうえ、一部屋訪問が終わる毎に消毒することを基本にインターホン越しで対応をしました。そのほか、緊急時においては、専門機関との連携、情報共有を適切に行い、入居者への援助活動の幅を広げることができました。

【課題】高齢化が進み、亡くなられた方や施設入所により空室が多くなっております。また、運動習慣が途切れた生活が続いたことで体調を崩したり、筋力低下により歩行困難になられた方もおります。本事業が令和7年度に終了するに当たり、健康面や精神面で心配のある方が住宅内や地域からの孤立防止について自治会へどのように繋いで行けば良いか、今後も専門機関や民生委員・児童委員等と一層の連携が必要です。

【今後の取組】家賃負担の要因から比較的若い世帯の退去により、整備当初と比較すると高齢化が進んでいることから、引き続き支援が必要な高齢者世帯や日中独居となる方への巡回訪問や丁寧な相談業務により状況把握に務めます。また、これまでと同様に専門機関や他の支援者と協力・連携し、入居及び自立再建された方の安心・安全な日常の確保に務めます。

【決算】事業活動による収入 10,883,331円 事業活動による支出 10,883,305円
 その他の活動による支出 940円
 当期資金収支差額 △914円

(2) 気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター

【概要】唐桑地域及び鹿折地区の高齢者に関する、介護や健康、認知症、高齢者虐待に関する相談に対し、訪問や面談、電話で対応し、必要な場合は関係機関と連携し、解決に向けた支援を行いました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防総合	契約のみ	その他
4	92	43	43	105	7	38	38	5	21	49	8	25
5	81	43	26	126	8	9	35	12	18	70	1	42
6	80	54	28	122	12	10	51	13	20	47	6	45
7	70	51	35	116	10	19	40	10	21	40	3	59
8	72	53	32	135	22	9	69	5	4	56	5	50
9	72	38	27	90	11	16	44	6	6	52	4	16
10	76	46	48	152	9	93	52	14	6	60	2	10
11	89	39	28	135	21	14	65	37	12	35	4	14
12	81	54	30	120	15	0	68	4	19	77	3	13
1	77	36	23	92	13	3	48	12	2	58	2	13
2	83	55	27	111	13	2	75	19	3	55	4	22
3	83	34	20	174	16	8	74	25	20	48	1	36
合計	956	546	367	1478	157	221	659	162	152	647	43	345
前年度	982	606	328	1310	178	137	691	157	116	637	74	254

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年5月10日	認知症地域支援推進員会議	気仙沼市役所
5月31日	新たな津波浸水想定に関する説明会	中央公民館
5月～6月の8日間	主任介護支援専門員更新研修(オンライン)	事業所内
5月10日	認知症地域支援推進員会議	気仙沼市役所
7月20日	第1回気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所
7月26日	気仙沼市地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
8月4日	居宅介護支援専門員研修会(オンライン)	気仙沼市役所
8月23日	認知症地域支援推進員会議	気仙沼市役所
9月27日	地域包括支援センター職員等支援者向け研修会(オンライン)	事業所内
10月26日	地域包括ケア推進協議会専門部会	気仙沼市役所
11月22日	地域包括ケア推進協議会推進員・事務局合同会議	気仙沼市役所
12月2日	精神疾患を学ぶ研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月22日	感染症予防対策セミナー	気仙沼合同庁舎
令和5年1月19日	介護保険における住宅改修説明会	気仙沼市役所
1月20日	権利擁護研修会(オンライン)	事業所内
3月9日	介護事業所のためのBCPセミナー(オンライン)	事業所内
3月13日～14日	地域包括支援センター職員研修会(オンライン)	事業所内
3月24日	第2回気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所
3月25日	地域包括ケア推進協議会総会	気仙沼市役所

【成果】高齢者虐待や認知症で連携の必要な高齢者について、警察、唐桑総合支所保健福祉課と「唐桑エリア地域ケア会議」を開催し、情報共有に努めました。また、鹿折地区、唐桑地区で地域支え合い推進員と協力して「地域づくりミーティング」や「認知症カフェ」を開催し、地域で支える基盤づくりに取り組みました。「唐桑地域多職種連絡会」では関係機関と地域のケアマネの困難事例について、事例検討会を行いました。

【課題】独居で認知症の高齢者や高齢者と何らかの障害を持つ世帯への支援が増えています。継続して「地域ケア会議」を開催し、関係機関で連携して支援できる体制を構築していく必要があります。

【今後の取組】令和5年度は気仙沼市の重点的に行う業務に沿い、①介護予防の推進②権利擁護に関するネットワークの強化③総合相談支援連携機能強化④認知症施策の推進について、関係機関と連携して取り組んでいきます。

【決算】事業活動による収入 29,545,277円 事業活動による支出 27,054,127円
 その他の活動による支出 1,108,080円
 当期資金収支差額 1,383,070円

(3) 気仙沼市本吉地域包括支援センター

【概要】本吉地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉関係機関と連携し、相談に関わりました。新型コロナウイルス感染症の予防をしながら事業を推進しました。
認知症相談や配食サービスの必要性から地域ケア会議を開催し、関係者間で連携しながら対応しました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防支援	契約のみ	その他
4	105	75	18	62	14	0	17	5	9	65	2	43
5	97	68	25	94	26	2	49	4	18	58	2	28
6	101	71	32	89	9	4	65	21	16	49	1	27
7	79	47	12	83	6	0	44	4	18	50	3	17
8	73	46	16	83	9	1	39	11	15	42	3	25
9	88	69	34	114	15	3	74	21	14	59	1	30
10	72	51	22	112	13	3	83	6	10	43	3	24
11	79	48	20	86	3	0	73	9	17	31	2	19
12	80	59	13	78	13	3	58	13	7	28	0	28
1	85	52	20	62	4	2	57	10	8	27	5	21
2	88	54	20	88	10	1	73	6	9	27	3	31
3	97	57	36	125	10	5	97	13	24	34	5	32
合計	1044	697	268	1076	132	24	729	123	165	513	30	325
前年度	1171	857	298	1132	170	46	691	170	146	755	27	282

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年5月11日～8日間	主任介護支援専門員更新研修（ズーム）	県庁
6月15日	気仙沼警察署と地域包括支援センター情報交換会	ワン・テン庁舎
7月20日	第1回気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	ワン・テン庁舎
7月21日～4日間	介護支援専門員更新研修（ズーム）	県庁
7月26日	地域包括ケア推進協議会	ワン・テン庁舎
7月29日	認知症キャラバンメイトスキルアップ研修（ズーム）	ワン・テン庁舎
8月5日	高齢者権利擁護推進研修（ズーム）	ワン・テン庁舎
10月19日	依存症関連問題研修会（ズーム）	
12月2日	本吉地区対応困難事例検討会	いこい
12月6日	気仙沼管内認知症関係機関情報交換会	気仙沼保健福祉事務所
12月23日	気仙沼警察署と地域包括支援センター情報交換会	
令和5年3月14日、15日	地域包括支援センター職員等研修会（ズーム）	
3月24日	第2回気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	
3月25日	地域包括ケア推進協議会 総会	ワン・テン庁舎
毎月	包括定例会	ワン・テン庁舎

【成果】認知症の相談が増えていますが、地域ケア会議を開催し関係者間での情報共有や地域での見守り体制を強化し、安心して生活できるよう話し合いを行いました。
家族関係や介護力不足から課題のあるケースについて居宅介護支援事業所から相談があり対応しました。

【課題】老世帯で二人とも認知症状ある世帯や被害妄想の方の相談が増加しています。関係機関との連携を密にし、随時情報の共有と支援を図っていく必要があります。

【今後の取組】一人一人の課題に向き合いながら、利用者やご家族が地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の支援者や関係機関と連携し、ケア会議等で情報共有を図り支援します。感染症等に留意しながら業務に取り組むとともに、地域支え合い推進員と連携し、地域との関係構築に努めます。

【決算】事業活動による収入 27,160,201円 事業活動による支出 24,055,996円
その他の活動による支出 1,124,760円
当期資金収支差額 1,989,445円

14. 団体事務

事業名	内容
<p>気仙沼市民生委員児童委員協議会</p>	<p>【概要】市民児協事務局として、団体会務に係る機関との連絡調整から各地区民児協及び委員への情報提供等を行いました。</p> <p>【会務等実績】 監査会（6月）、役員会2回（6月、3月）、総会（書面評決方式で実施）</p> <p>【成果】新しい制度等の情報提供等積極的に民協活動を支援しました。また、昨年度に引き続き民生委員制度周知活動に取り組みました。</p> <p>【課題】民生委員活動がスムーズに行えるよう支援しながら、事務局運営を滞りなく進めて行くことが必要です。</p> <p>【今後の取組】円滑な単位民児協運営が図れるよう、市役所担当部署と連携を密にして取り組みます。</p>
<p>本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会</p>	<p>【概要】本吉ブロック民児協（構成：気仙沼市民児協・南三陸町民児協）の事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整をしました。</p> <p>【実績】気仙沼市民児協・南三陸町民児協会長会議 1回（4月）</p> <p>【成果】ブロック管内での民生委員制度周知への取り組みとして、5月の民生委員の日に合わせて三陸新報と河北新報へ広告掲載と広告折り込みを実施しました。</p> <p>【課題】南三陸町民児協との広域的な社会課題の共有と課題解決に向けた情報共有の機会確保とスムーズな団体会務への取り組みが課題です。</p> <p>【今後の取組】南三陸町民児協と連携の下、役員会及び圏域での研修会等の開催に向け、南三陸町民児協事務局と連携しながら取り組みます。</p>
<p>気仙沼市共同募金委員会</p>	<p>【概要】共同募金委員会事務局として、住民への募金に関する理解や募金運動に関する支援、団体会務に係る外部機関との連絡調整等を行いました。</p> <p>【実績】 監査会1回（6月）、運営委員会2回（7月、3月）、正副会長会議3回（7月、11月、3月）、配分審査会1回（12月）、街頭募金運動10月1日～4日</p> <p>【成果】市社協マスコットキャラクターと市共募のコラボ資材を作成し、ホームページや社協だより、LINEを活用しながら赤い羽根共同募金の周知及び募金活動を行いました。街頭募金運動については、前年度新型コロナウイルス感染症の拡大により中止しましたが、正副会長会議において協議した結果、今年度は感染対策を徹底した上で、実施しました。</p> <p>【課題】感染対策を講じながら、効果的な募金運動展開や安定した事業運営が図られるよう、宮城県共募と連携を強化した運営支援が必要です。</p> <p>【今後の取組】運営委員を中心に、広く共同募金運動へ理解が得られるよう団体会務を支援します。</p>
<p>気仙沼市ボランティア連絡会</p>	<p>【概要】市内のボランティア団体をもって組織し、各団体の育成と連携・協力を図り、ボランティア活動の推進に寄与することを目的としており、気仙沼地区と唐桑地区の計12地区ボランティアクラブから構成されています。</p>

	<p>【実績】総会、監査会（1回）、役員会（5回）、他団体会議への出席等</p> <p>【成果】情報の共有や連携を図ることにより、活動の幅が広がり活動の質の向上に繋がっています。</p> <p>【課題】新型コロナウイルスの影響により、研修会等の開催が中止となり、情報交換やネットワークづくりに支障を来しています。</p> <p>【今後の取組】地域のボランティア団体の円滑な連携を図り、より充実したボランティア活動の推進に繋がるよう努めます。</p>
<p>気仙沼市老人クラブ連合会</p>	<p>【概要】老人クラブ活動の活性化を図り、市老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めました。</p> <p>【実績】会議等（総会1回、定例理事会3回、監査会1回、専門部会1回、市高齢者事業運営委員会2回）</p> <p>【成果】今年度は改選期であることから、6月の専門部会において新部員での各事業の具体的開催予定日を定め、実施1か月前に部会を開催し、実施の有無を決定してきました。市高齢者事業、屋内競技等については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が十分にできないことから休止となりましたが、女性部主管事業の「ふるさとを知らう」については、「グラウンドゴルフ交流大会」に置き換えての実施や、「ノルディックウォーキング」を実施したところ、多くの方に参加いただけました。県老連の事業等には新型コロナウイルス感染症感染対策を徹底して参加しました。</p> <p>【課題】気仙沼地区老連、他の地区の単老6クラブが脱会し会員数も450人を割ったことから、会員の加入促進が課題となっています。会員の高齢化と後継者不足により、リーダーの育成が必要です。単位クラブや事業の在り方、リーダーとしての役割・分担を確認・見直しを行ないながら、活動の充実に努めます。</p>
<p>本吉町老人クラブ連合会</p>	<p>【概要】関係機関と連携し、自主的運営による全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の推進と活性化を図りました。</p> <p>【実績】会議等（総会1回、監査会1回、単位クラブ会長会議4回、女性部総会1回）</p> <p>事業等（グラウンドゴルフ大会1回、ペタンク大会1回、移動研修会1回、女性部研修会1回）</p> <p>【成果】感染対策をしながら、実施できる事業を検討し、例年通りのグラウンドゴルフ大会と、今年度は新たにペタンク大会を開催し、多くの会員の方々に参加いただき、交流、親睦を深めることができました。</p> <p>また、移動研修会として、他地域（女川町老連）との情報交換の機会を企画実施し、今後の在り方について前向きに考えるきっかけになりました。</p> <p>その他、室内体育大会、芸能交歓会については、中止としました。</p> <p>【課題】これまで同様に会員の高齢化による役員の後継問題から今年度始めには2クラブが解散になりました。会員の加入促進や今後の事業運営の見直しが必要になってきています。</p> <p>【今後の取組】会員の状況に合わせ、健康で充実した事業を計画し、円滑に事業を推進していきます。なお引き続き、新規会員の加入促進についても、チラシなどを作成し情報発信をしていきます。</p>

<p>本吉地区遺族会</p>	<p>【概要】 遺族会として友愛の精神で互いに助け合い、福祉の増進に努め、戦没者諸英霊の祭祀を厚くし、関係機関と連携協調することにより、後世にわたって平和の尊さを認識してもらえよう意識しながら事業を推進しました。</p> <p>【実績】 会議等（総会1回、監査会1回、役員会2回） 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、総会は書面にて対応。</p> <p>【成果】 役員が一丸となって、役員や評議員の候補者の選出や会員減少の歯止めをかける取組みの検討を進めてきました。</p> <p>【課題】 会員が孫曾孫世代に代わってきていることなどもあり、脱会する方が多くなってきている状況にあります。</p> <p>【今後の取組】 役員が中心となり、役員の後継や会員減少を防ぐ呼び掛けをはじめ、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和な世の中が今後も続くように会の取組みを支援します。</p>									
<p>気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会</p>	<p>【概要】 本吉地域内の「連携・協働の場」プラットフォームとしての役割を發揮するため、本吉地域内の6法人が参加し、地域の様々な福祉課題の解決と地域福祉推進に資することを目的に取り組みを進めました。</p> <p>【実績】 会議 連絡会議 10回</p> <table border="0" data-bbox="635 981 1417 1115"> <tr> <td>新任職員研修会</td> <td>6月23日（木）</td> <td>参加者35名</td> </tr> <tr> <td>職員スキルアップ研修</td> <td>12月16日（金）</td> <td>参加者役70名</td> </tr> <tr> <td>介護・福祉映画上映会</td> <td>3月12日（日）</td> <td>参加者104名</td> </tr> </table> <p>【成果】 本吉地域内の介護・福祉に関わる法人などが連携し、事業実施を行うことで、法人間の連携や職員の福祉などに関する意識高揚に繋がった。</p> <p>【課題】 コロナ禍でもあり、連携協議会として本来必要な地域貢献事業が出来かねている状況にあります。</p> <p>【今後の取組】 各法人と連携し、地域の実情に即した地域貢献事業などを創設して地域共生社会の実現に向けた取組みを進める支援をしていきます。</p>	新任職員研修会	6月23日（木）	参加者35名	職員スキルアップ研修	12月16日（金）	参加者役70名	介護・福祉映画上映会	3月12日（日）	参加者104名
新任職員研修会	6月23日（木）	参加者35名								
職員スキルアップ研修	12月16日（金）	参加者役70名								
介護・福祉映画上映会	3月12日（日）	参加者104名								